

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり報告数は3.92人と、やや減少しました。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第13週以降報告がありませんでしたが、第17週は2件報告されており、引き続き注意が必要です。

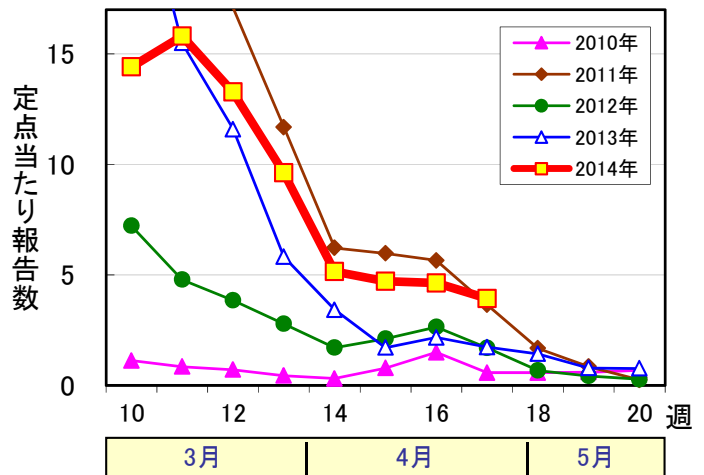
2. 感染性胃腸炎

小児科定点からの感染性胃腸炎の報告数は定点当たり10.8人と、前週とほぼ同程度で推移しています。また、基幹定点からの感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)は10人の報告がありました。

3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり報告数は2.17人と、例年同時期と比較して多い状態となっています。(次頁参照)

インフルエンザの流行状況



連休中は、混雑する場所へ出かけることが多く、感染機会が増えると考えられます。健康管理に注意し、手洗い・うがいの励行など、一層の感染予防対策を心がけましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	145	3.92	2.39	◇	小児科	流行性耳下腺炎	20	0.83	0.62	◇
	咽頭結膜熱	5	0.21	0.45	◇	小児科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.05	◇
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	2.17	1.40	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	◇
	感染性胃腸炎	258	10.75	9.98	◇	眼科	流行性角結膜炎	5	0.63	1.10	◇
	水痘	17	0.71	1.39	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	◇
	手足口病	2	0.08	1.35	◇	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-	◇
	伝染性紅斑	-	-	0.23	◇	基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.40	◇
	突発性発しん	12	0.50	0.52	◇	基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	◇
	百日咳	-	-	0.12	◇	基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	10	1.43	-	◇
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.08	◇						

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	55	男性(50歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
4	レジオネラ症	2	5	男性(60歳代)・市外・1人、女性(70歳代)・1人
5	ウイルス性肝炎	1	1	男性(80歳代)・B型
5	急性脳炎	1	2	女性(10歳未満)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	男性(70歳代)
5	梅毒	1	1	男性(20歳代)

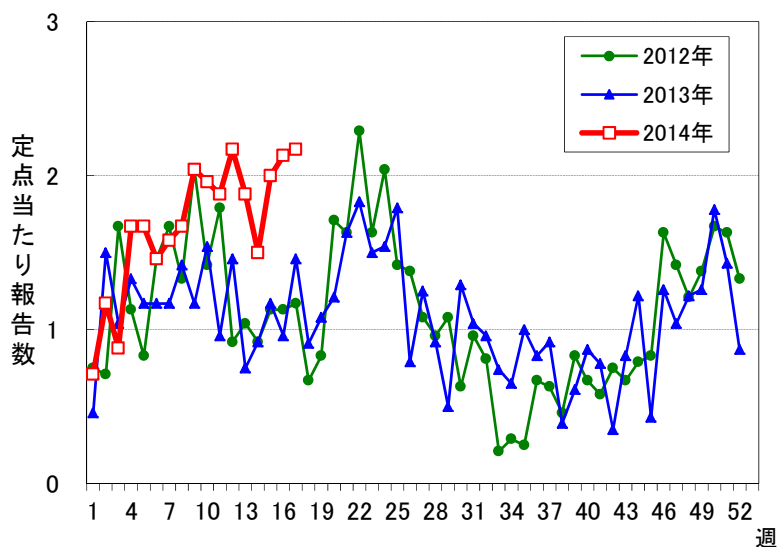
■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レン サ球菌咽 頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミ ジア肺炎	(感染性 胃腸炎 (ロタ ウイルス)
報告数	広島市	第13週	356	16	45	207	22	3	1	11	-	2	15	2	-	4	-	-	-	-	2
		第14週	190	8	36	168	32	-	-	10	-	4	9	-	-	2	1	1	-	-	6
		第15週	174	9	48	234	7	-	-	19	-	7	8	2	-	6	-	-	1	-	11
		第16週	171	8	51	249	24	1	-	13	-	1	17	1	-	3	-	-	1	-	7
		第17週	145	5	52	258	17	2	-	12	-	2	20	3	-	5	-	-	-	-	10
定点当 たり	広島市	第13週	9.62	0.67	1.88	8.63	0.92	0.13	0.04	0.46	-	0.08	0.63	0.08	-	0.50	-	-	-	-	0.29
		第14週	5.14	0.33	1.50	7.00	1.33	-	-	0.42	-	0.17	0.38	-	-	0.25	0.14	0.14	-	-	0.86
		第15週	4.70	0.38	2.00	9.75	0.29	-	-	0.79	-	0.29	0.33	0.08	-	0.75	-	-	0.14	-	1.57
		第16週	4.62	0.33	2.13	10.38	1.00	0.04	-	0.54	-	0.04	0.71	0.04	-	0.38	-	-	0.14	-	1.00
		第17週	3.92	0.21	2.17	10.75	0.71	0.08	-	0.50	-	0.08	0.83	0.13	-	0.63	-	-	-	-	1.43
	全国	第15週	4.18	0.31	1.59	5.76	0.91	0.12	0.14	0.53	0.01	0.04	0.23	0.16	0.01	0.48	0.01	0.04	0.20	0.01	0.39
		第16週	4.65	0.37	2.12	7.61	0.88	0.12	0.16	0.62	0.01	0.06	0.25	0.16	0.01	0.52	0.02	0.03	0.26	-	0.55

■新たに判明した病原体検出状況

新たな検査結果はありません。

【参考】広島市におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はA群溶血性レンサ球菌によって引き起こされる疾患です。この菌は咽頭炎だけでなく、膿痂疹(うみを伴ったできもの)、猩紅熱、中耳炎、肺炎、関節炎、髄膜炎などいろいろな病気を起こします。

潜伏期間は2～5日で、突然の発熱と全身倦怠感、喉の痛みによって発症し、嘔吐を伴うことがあります。また、舌に「いちご舌」といってイチゴのような赤いつぶつぶができることがあります。

一般に幼児、学童を中心として流行します。年間を通じて患者がみられますが、特に春から初夏、秋から冬にかけて患者発生が多くなります。

この疾患は、患者との接触によって感染しますので、患者との濃厚な接触を避けることが重要です。看護の際は、マスクを着用するなど注意が必要です。また、日常の手洗い・うがいの励行など一般的な予防法も有効です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2014年第17週(4月21日～4月27日)